



鈴木まもる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

つくば方式で事業化促進を

市川市特集

「東京10号線沿線新線」計画

沿線開発と鉄道整備を「一体で

9月県議会 一般質問



本会議場でパネルを掲げながら質問する鈴木まもる県議

市議四期、市議会議長など地方行政の豊富な経験と実績を掲げて、昨年四月から県議会に登場した市川市の鈴木衛(すずき・まもる)県議は、二月の予算委員会に続いて、九月定例県議会でも一般質問に登壇し、鉄道や航路問題などで県の方針をただしました。

鈴木県議は、質問の中で、旧北千葉線といわれた「東京10号線延伸新線」の事業化へ向けて、「この路線の整備が、地域の交通混雑による環境悪化の解消につながるものと確信している」とし、沿線開発と鉄道整備を一体化した、つくば方式での開発手法を検討するよう県へ強く要望しました。鈴木県議の質疑を1、2面で特集します。

鈴木議員 東京10号線延伸新線について、県はどのように取り組む考えか。

堂本知事 この計画は、平成十二年の運輸政策審議会の答申で、「沿線の開発状況を見極めつつ、その整備を検討する」と位置づけられており、県が事務局を務める「東京10号線延伸新線検討委員会」を設置し、地元の市川市、鎌ヶ谷市とで、採算性や事業効果等の調査・検討を行っているところです。

象とする「都市鉄道利便増進事業補助」による手法についても調査を行っています。

鈴木議員 この取り組みで、沿線都市づくりと鉄道整備を一体として事業を進めたつくばエクスプレスの手法のように、沿線開発と一体となった鉄道整備を考えたかどうか。

堂本知事 いわゆる宅鉄法に基づき整備されたつくばエクスプレスや先進事例となる埼玉高速鉄道線などの整備手法の調査・検討も行っています。あわせて平成十七年度に国が創設した既存の都市鉄道施設の間を連絡する新線の建設等を対

取り巻く社会情勢を見極めながら、事業化に向けて検討を進めてまいりたいと考えています。

鈴木議員 市川航路拡張に向けた県の取り組み状況と今後の対応はどうか。

県土整備部長 昭和五十七年に暫定供用を開始したところですが、その後、三番瀬地域の土地造成計画が中止になったことに伴い、公共岸壁の計画はなくなり、埋め立て用の土砂の確保も不要となったため、現状では市川航路を拡張することは難しいと考えています。

鈴木議員 市川航路について、公共岸壁の利用に必要な水深五・五呎までしか浚渫(しゅんせつ)しないとしているが、現在、供用されている水深六・五呎、幅員二百呎の維持浚渫が必要と考えるが、県は今後どのような対応をとっていくのか。

県土整備部長 市川航路は、これまで水深六・五呎、幅員二百呎で、企業庁が維

現状水深で実施を検討 市川航路の浚渫

持浚渫を行ってきたが、平成十八年度に港湾管理者に移管されたものです。

県で行う航路の維持浚渫は、公共岸壁を利用する船舶の航行に支障のない水深までに限ることを原則にしており、市川航路では水深五・五呎までとなりますが、水深六・五呎までの浚渫についても、今後、関係者と調整を図りながら検討してまいります。

要望 県として、さらなる延伸新線の事業化へ向けて、力強く努力されるよう要望します。

鈴木まもる県議プロフィール

- 略歴**
- 昭和26年 市川市若宮生まれ
 - 私立市川高校卒業
 - 専修大学文学部中退
 - 市川市議会議員当選(4期)
 - 市川市議会議員
 - 自民党市川支部副部長
- 現職**
- 平成19年千葉県議会議員当選
 - 県議会 商工労働企業常任委員会副委員長
 - 同 予算委員会委員
 - 千葉県競馬組合議事長
 - 同 水道事業運営審議会委員
 - 市川交通安全協会会長
 - 市川市サッカー協会会長
 - 市川市少年野球リーグ会長
 - 市川商工会議所参与
 - 市川市観光協会副会長
 - 市川食品衛生協会顧問

都市づくり、地域づくりのご意見、ご提言をお寄せください。

〒272-0021 市川市八幡3-29-20 秋葉ビル3F
鈴木まもる 県議事務所 TEL047-333-6000
 FAX047-322-3232

鈴木まもるホームページ http://www.suzukimamoru.com

水道料金の格差是正求め質疑

市川市特集

補助金で1300円引き下げ効果

鈴木議員 水道料金の格差是正策として、大阪では料金が割高な大阪府が、割安な大阪市と水道事業を統合し、二重行政の無駄を省き、料金を値下げする検討が行われている。県内では市町村等が経営する水道事業に対し県が補助することによって、住民負担の軽減と経営の健全化に努めてきたが、まだ格差は埋まっていない。この市町村水道総合対策補助金の効果はどうか。

鈴木議員 水道料金の格差は正策として、大阪では料金が割高な大阪府が、割安な大阪市と水道事業を統合し、二重行政の無駄を省き、料金を値下げする検討が行われている。県内では市町村等が経営する水道事業に対し県が補助することによって、住民負担の軽減と経営の健全化に努めてきたが、まだ格差は埋まっていない。この市町村水道総合対策補助金の効果はどうか。

鈴木議員 水道料金の格差は正策として、大阪では料金が割高な大阪府が、割安な大阪市と水道事業を統合し、二重行政の無駄を省き、料金を値下げする検討が行われている。県内では市町村等が経営する水道事業に対し県が補助することによって、住民負担の軽減と経営の健全化に努めてきたが、まだ格差は埋まっていない。この市町村水道総合対策補助金の効果はどうか。

鈴木議員 水道料金の格差は正策として、大阪では料金が割高な大阪府が、割安な大阪市と水道事業を統合し、二重行政の無駄を省き、料金を値下げする検討が行われている。県内では市町村等が経営する水道事業に対し県が補助することによって、住民負担の軽減と経営の健全化に努めてきたが、まだ格差は埋まっていない。この市町村水道総合対策補助金の効果はどうか。



議場で再質問する鈴木まもる議員

委員会の提言受け検討

鈴木議員 水道事業の統合による料金の格差是正について、住民サービス向上の観点からどのように考えているのか。

鈴木議員 水道事業の統合による料金の格差是正について、住民サービス向上の観点からどのように考えているのか。

要望

県の料金格差是正の努力は認めるが、まだ、八千代市と勝浦市では約三倍近い格差がある。大阪府と大阪府では、格差是正のために水道事業統合の検討が進められていることや、神奈川県でも同様の検討が進められているようだ。千葉県でも九十九里地域・南房総地域の用水供給事業体と県営水道の統合が検討されているようだが、更なる料金格差是正のためにもこの検討を進めてほしい。

塩浜護岸の本格改修整備を 老朽化で県の責任を追及



塩浜護岸は放置できない状態 = 現地を視察する鈴木まもる議員

鈴木議員 三番瀬に面した市川市塩浜一丁目の護岸に関する問題が、知事が市川二期埋め立て計画の中止を決定したことに伴い、生じたものと認識している。埋め立て中止で、現在の塩浜護岸が最終的な海岸線になり、三番瀬再生会議でも指摘されているように、老朽化が進み、いつ倒壊してもおかしくない大変危険な状態にある。市は、これ以上放置できないとして、本意ではあるとしても、特に危険な箇所を対象に緊急な暫定工事を実施している。県と

鈴木議員 三番瀬に面した市川市塩浜一丁目の護岸に関する問題が、知事が市川二期埋め立て計画の中止を決定したことに伴い、生じたものと認識している。埋め立て中止で、現在の塩浜護岸が最終的な海岸線になり、三番瀬再生会議でも指摘されているように、老朽化が進み、いつ倒壊してもおかしくない大変危険な状態にある。市は、これ以上放置できないとして、本意ではあるとしても、特に危険な箇所を対象に緊急な暫定工事を実施している。県と

鈴木議員 三番瀬に面した市川市塩浜一丁目の護岸に関する問題が、知事が市川二期埋め立て計画の中止を決定したことに伴い、生じたものと認識している。埋め立て中止で、現在の塩浜護岸が最終的な海岸線になり、三番瀬再生会議でも指摘されているように、老朽化が進み、いつ倒壊してもおかしくない大変危険な状態にある。市は、これ以上放置できないとして、本意ではあるとしても、特に危険な箇所を対象に緊急な暫定工事を実施している。県と

鈴木議員 三番瀬に面した市川市塩浜一丁目の護岸に関する問題が、知事が市川二期埋め立て計画の中止を決定したことに伴い、生じたものと認識している。埋め立て中止で、現在の塩浜護岸が最終的な海岸線になり、三番瀬再生会議でも指摘されているように、老朽化が進み、いつ倒壊してもおかしくない大変危険な状態にある。市は、これ以上放置できないとして、本意ではあるとしても、特に危険な箇所を対象に緊急な暫定工事を実施している。県と

鈴木議員 三番瀬に面した市川市塩浜一丁目の護岸に関する問題が、知事が市川二期埋め立て計画の中止を決定したことに伴い、生じたものと認識している。埋め立て中止で、現在の塩浜護岸が最終的な海岸線になり、三番瀬再生会議でも指摘されているように、老朽化が進み、いつ倒壊してもおかしくない大変危険な状態にある。市は、これ以上放置できないとして、本意ではあるとしても、特に危険な箇所を対象に緊急な暫定工事を実施している。県と

九月県議会 一般質問 鈴木まもる 県議

9月県議会自民党代表質問

重要課題で知事を追及

九月定例県議会で、最大会派の自民党が党の代表質問を行いました。

代表質問は、財政問題を筆頭に、逼迫する自治体病院への支援策を含む地域医療問題や救急医療問題と先端医療、食の安全・安心、三番瀬問題、今後の企業立地、農林水産業などいずれも県政の重要課題を取り上げ、堂本知事の姿勢を追及し、党としての懸念を表明しました。

知事は、九月補正段階でもなお九十億円の財源不足には、「楽観が許されない」として、滞りなく全庁一丸での経費削減による年度内の財源不足解消を表明しましたが、全体としては、県政への明確な姿勢はみられませんでした。